

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 6年 2月 17日

事業所名 障害児通所支援事業所 シュシュ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		リハ職は法人内で複数人いるので連携して療育を行っている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		仕切り等を使った構造化された環境ではありませんが、カーペットやテーブルの配置を工夫することで、視覚的に活動や食事など何を行うかを子どもたちにもわかりやすく伝えるようにしています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		朝夕、児発放課後の入れ替わりの時間にホール等の清掃を行い清潔保持に努めています	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		職員会議やミーティングは全スタッフが参加できる日程で行っています。振り返りや今後の工夫について常に考え周知できるようにしています	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ上や保護者説明会で公開しています。常時玄関にも掲示しています	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に勉強会等を行っています	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		半年に一回支援計画の更新のタイミングで保護者面談を行いニーズや課題の把握に努めています	その他のタイミングでも希望に応じ、面談の機会を作り困りごとなどに即時対応できるようにします
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		年に一回遠城寺式発達検査を行い、子どもたちの発達について把握して、ここに合わせた療育を目指しています	その他その時々で最も適したツールが使用できるよう検討を重ねます
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士、児童指導員で草案を練り、全体ミーティングで看護師等の意見も聞きながら完成させています	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○				

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼の時にその日の活動について全体が把握できるよう伝えていません	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	終了後と固定されてはいないが、気づきや反省は都度報告し、必要に応じてミーティングを行っています	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		支援計画作成の3か月後と半年後の更新時に評価しています	定期だけでなく、不定期の変化にも応じていきます
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、看護師、保育士、PTなど会議の内容に合わせてその場に適した職員が参加している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	該当児なし。必要な時には連携しますのでご相談ください	関係機関との連携は積極的にとっていきたいと思っています
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		関係機関との連携は積極的にとっていきたいと思っています
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		年に一回主治医に医ケア指示書を依頼し、医師の指示のもとケアを行っています。必要時には連絡相談ができるよう環境は整えています	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	該当児なし。保育所等訪問支援も行っています。必要な時には連携しますのでご相談ください	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		該当児がいる場合には移行支援会議等には積極的に参加しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		地区の定例会等に参加し連携をとっています	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		行いたい希望はあります。つながりを持ってそうな園を探していきます
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		地区の連絡会が協議会子ども部会の下部組織としても機能していて地域の問題提起や意見等を上げる機会もあります
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳などでやり取りをしています	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	今後ご希望があれば前向きに検討したいと思っています	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に説明をさせていただいています	保護者会でも説明し、より周知を図ります
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		利用契約時と半年ごとの支援計画の見直しの時に説明をし、確認の上サインをお願いしています	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			気軽にお声掛けをいただきたいと思っています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		二月に保護者会を開催します。今年度も保護者参加型の行事も行いました。これらの機会が保護者の皆様の交流の懸け橋になればと思っています	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			準備はできています。いつでもどうぞ
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に一度おたよりを配布しています。インスタも投稿しています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	前向きに検討したいと思っています	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		防災、感染対策委員会を立ち上げ各委員の職員を中心にマニュアルの作成や定期的な研修などを行っています	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一回、定期的に行っています。	時間曜日などを振り分けて、全利用児童が一度は訓練に参加できるように計画しています
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		お薬手帳のコピーを預かり、看護師が管理保管しています。予防接種や感染状況も把握できるようにプリントの提出をお願いします	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医ケア指示書に記載してもらっています。クッキング活動ではアレルギーを除去した上保護者の方と相談しながら行っています	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		リスク管理委員会が月一回開催されています。その後報告のためのミーティングを行い、内容、対応策等を共有しています	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会が定期的に開催され、報告のミーティングで全体把握を行っています	ご意見箱の活用も行いたいです
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		支援計画に記載し、モニタリング表にて状況報告をしています。月に一度ミーティングで状況報告を行っています	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 6年 2月 17日

事業所名 障害児通所支援事業所 シュシュ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員会議やミーティングは全スタッフが参加できる日程で行っています	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ上で保護者説明会で公開しています。玄関にも掲示しています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に一回の支援計画の更新の時期に保護者面談を行いニーズや課題の把握に努めています	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士、児童指導員で草案を作成し、スタッフミーティングで看護師等の意見を聞きながら完成させています	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇前には活動の予定等を含めて全体把握ができるようミーティングを行います	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		一人一人に一日のスケジュールを設定しています	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼の時に一日の活動や予定について共有しています	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	終了後と固定されてはいませんが、気づきや反省は必ず報告し必要に応じてミーティングを実施しています	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		支援計画作成の3か月後と6か月後の更新時に評価しています	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者や看護師、保育士、PTなど会議の内容に合わせてその場に適している職員を参加させています		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校の先生と常に話ができるようになっています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		年に一度主治医に医ケア指示書を依頼し、医師の指示の下で医ケアを行っています。必要な時には連絡相談ができるよう環境を整えています	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		該当児に関しては実施していきたいと思っています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		R3.3実施	今後も該当児には行っていきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		南区の機能強化事業に参加しています。定期的な訪問等もあり助言をいただいています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		ご希望があれば前向きに検討したいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		地区の連絡会が協議会の下部組織として運営されています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		ご希望、ご相談があれば対応したいと思います
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に説明をしています	保護者会でも説明しより周知を図ります
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		二月に保護者会を実施。保護者参加型の行事も行いました。これらの機会が保護者の皆様の交流の懸け橋になればと思っています	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に一度おたよりを配布しています。インスタも投稿しています	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		防災委員会、感染対策委員会などを立ち上げ、各委員を中心にマニュアル作成を行い全体に伝達し周知を図っています。マニュアルの内容に即した事業所内研修も行っています	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一回行っています。	利用児様が最低でも1回は参加できるように曜日時間帯等を振り分けています

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待防止委員会が定期的開催され、報告のミーティングで全体把握を行っています	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	支援計画に記載し、モニタリング表にて現状報告を行っています	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	医ケア指示書に記載してもらっています。クッキング活動などではアレルギーを除去し、保護者に相談、許可を得たうえで活動しています	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	リスク管理委員会が月一回開催されています。その後報告のためのミーティングを行い、内容やその対策を共有しています	